

お知らせ

農業用廃プラスチック類の適正処理

焼くなら捨てな！

農業用廃プラスチック

ビニールハウスやマルチ被覆などで使用した使用済み農業用プラスチック類(廃プラ)の処理は、どうしていますか。これらの廃プラは排出事業者(農業生産者)自らの責任において適正に処理することが義務づけられており、これらを不法投棄・野焼きすることは法律で禁じられています。

廃プラスチック対策協議会では、農業生産者の皆さんの使用済み農業用プラスチック類について、地域ごとに一斉回収日を設けて回収処理を行っています。

- ◆個人搬入も随時受け付け
- ◆回収には産廃処理契約農家の登録が必要
- ◆一斉回収日

◆回収場所・時間など詳しくは、農家組合に配布する回覧で確認してください。

◆農ビ、農ホリの分別、梱包荷姿等を参考実施してください。

◆農ビには、農家登録番号を必ず記載してください。

【成東地域】 J A各支所・小川商店

7月6日(月)／12月22日(火)
平成22年3月2日(火)

【山武地域】

- 8月10日(月)丸朝園芸組合
- 8月18日(火)J A日向園芸出荷組合
- 8月24日(月)睦岡園芸組合
- 8月25日(火)J A睦岡園芸出荷組合

【蓮沼地域】 J A蓮沼支所

7月23日(木)／12月2日(水)

【松尾地域】 J A各支所

8月3日(月)／12月3日(木)

個人搬入の手順

電話などで農林水産課に伝え、廃棄物管理票(マニフェスト)の交付を受ける。その後工場へ搬入(農ビには、農家登録番号を必ず記載)工場から返却された廃棄物管理票を、農林水産課に届ける。

搬入対象品目規格

対象品目	回収荷姿	結 束	その他
塩化ビニールフィルム	重さ15kg程度まででつづら折り	同種類のを紐にして2箇所縛り	登録番号記載
ポリエチレンフィルム／農酢ビ／農PO(軟質系)／果樹園用ネット	同上または杭を利用したグルグル巻き	同種類のものまたはマイカー線で2箇所縛り	登録番号なし
ポリエチレンフィルム 肥料袋／培土袋	重さ10kg程度で二つ折り	同種類のものまたはマイカー線で2箇所縛り	登録番号なし

※搬入上の注意

- ① 品目ごとに区別して梱包する。
- ② 石、金属、竹片、木片などは絶対

に混入させない。

- ③ 極力水分を取り除く。なお、フツソ系、硬質フィルム、育苗箱、糸入塩化ビニール、塩ビ管などについては受け付けできません。

問 廃プラスチック対策協議会事務局(農林水産課農林水産係内)

☎(80)1211

農薬の適正使用

農薬は「農産物の安全」、「使用者の安全」、「環境の安全」を守るため、正しく使いまししょう。

【注意】

- ◆家庭菜園や庭木の手入れなどで使用する場合でも、必ずラベルを確認しましょう。
- ◆風の強い日や体調が万全でない日、また、炎天下での長時間にわたる散布は避けましょう
- ◆風向きなどに十分注意するとともに、散布前に周辺関係者に農薬を散布することを知らせましょう。
- ◆農薬の調整・散布を行うときは、マスクや保護メガネ等防護装備を着用し、気分が少しでも悪くなった場合は医師の診断を受けましょう。また、作業後は、手足だけでなく洗眼、全身を石鹸でよく洗い、衣服を取り替えましょう。
- ◆使用残りの調整液や散布に使用した器具および容器を洗浄した

水は、散布むらの調整に利用するか、活性炭や凝集剤を使って適切に処理しましょう。

問 農林水産課

☎(80)1211

ハチの巣にご用心



土地の所有者 または管理者の責任

初夏から秋にかけてはハチの巣づくりの時期です。毎年、市役所にハチの巣駆除の要望が多く寄せられますが、土地の所有者または管理者の責任において駆除をお願いします。

なお、駆除ができない場合は、専門業者へ依頼することをお勧めします。

●ハチに刺されないために

- ・巣の前を急いで横切るなどの急激な動作は避けましょう
- ・巣に石を投げたり、ついたりしてハチを刺激しないでください。
- ・巣の近くで香水や熟した果実・ジュースなどの甘味飲料など香りの強いものは避けましょう。
- ・純毛製品や黒い服装は刺されやすいので白系の服装にしましょう。
- ・野外活動中にハチと遭遇した場合は大声で騒いだり手で追い払うことはしないで、体勢を低くしてゆっくりとその場を離れましょう。

問 環境保全課

☎(80)1161